

主な記事

- 2面 役員名簿
新事務局員ご紹介
- 3面 原昌平氏・総会記念講演要旨
- 4面 事務局員歓迎宴会
- 5面 会員デビュー講演・柳田隆会員
- 6面 おサル先生の在宅医療入門⑦
- 8面 保団連医療研究会案内
- 9面 酒蔵見学会(上)

今月の会員数/1,002人(医科724人・歯科278人)

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号
太陽生命金沢ビル6階
☎(076) 222-5373 番 FAX (076) 231-5156 番
編集部E-mail; iskw_sugino@doc-net.or.jp
発行人 井沢宏夫
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間 5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

第31回定期総会が終わり2005年度がスタート

住民と共に社会保障の拡充を

30年在籍会員の表彰も

理事 西川 忠之(能美市・泌尿器科)



提案された議案はすべて満場一致で可決(3月5日・金沢都ホテル)

三月五日(土)午後六時より、金沢都ホテルにて第三十一回定期総会が開かれた。

開会に先立ち物故会員、故白石康夫氏、故真館賢吉氏、故中田勲氏、故錦木太門氏、故野村実氏に対して黙祷を行いご冥福をお祈り申し上げた。

開会にあたり井沢会長より、創立三十周年にあたり、念願の会員千人を達成し、協会事務所も拡張移転したこと。また『三十年史』を発刊し、過去の協会活動を振り返り今後の協会活動を展望する上で多くの示唆に富む内容があり多くの教訓を学ぶことができたこと。

さらに今後の協会活動として社会制度や医療技術等の変化に即応した形での診療に役立つ企画を行い、会員に共通する問題点や課題を取り上げてゆく努力をして



あいさつに立つ井沢宏夫会長



司会を務めた西川忠之理事

いくとも、現在最も大きな不安要素となっている社会保障制度を守り拡充する方向性を示した運動を進めたいとあいさつした。

議事にあたり、松本吉典氏(金沢有松病院院長)が議長に推挙され、粛々と議事が進行された。まずは喜



議長に選任された松本吉典先生



30年在籍会員には感謝状が贈られた



役員就任30年表彰を受ける勝木育夫副会長

見直しについての報告、二

た、社保対策、審査指導監査の改善運動の報告、経営共済活動としての休業保障、グループ保険、保険医年金の状況が報告され、有限会社ヒボクラテスの業務内容

多副会長より二〇〇四年度活動報告。医療改善運動として混合診療解禁と特定療養費拡大に反対運動の内容報告、介護保険見直しについての対応、心身障害者医療費助成制度の見直しに対する県知事への制度存続要請等につき報告された。また、社保対策、審査指導監査の改善運動の報告、経営共済活動としての休業保障、グループ保険、保険医年金の状況が報告され、有限会社ヒボクラテスの業務内容見直しについての報告、二



決算報告、予算案を提案する西田直巳副会長



30年勤続表彰を受ける神田事務局長

次に西田副会長より二〇〇四年度決算報告がなされ、『三十年史』及び記念祝賀会と事務所移転費に特

二〇〇五年度活動方針案については前年度を踏襲した内容に新企画を加えた内容で、より安心・安全な医療提供ができるスキルアップのための活動と執行体制と事務局体制の強化により一層社会的役割を強めよりよい医療環境を求めめる活動をさらに推進する方針にて承認された。

〇〇四年度学術・保険活動(歯科・医科)、機関紙・文化活動、社会保障平和活動等の報告がなされた。

二〇〇五年度予算案については診療報酬改定の無い年度をほぼ踏襲した予算内容で決算報告予算案ともに承認され、申監事より会計監査報告がなされた。



会計監査報告をする申東奎監事



退職する大川事務局長に感謝状が贈られた

役員改選に関する議案については、勝木副会長より現体制にての提案がなされ承認された。

最後に、社会保障制度を再生しそれを支える、"人権の理念"を元に日本を再構築しようという内容のスピーチが採択され、総会は閉会された。

役員改選に関する議案については、勝木副会長より現体制にての提案がなされ承認された。

最後に、社会保障制度を再生しそれを支える、"人権の理念"を元に日本を再構築しようという内容のスピーチが採択され、総会は閉会された。

徴のある支出内容との説明があった。二〇〇五年度予算案については診療報酬改定の無い年度をほぼ踏襲した予算内容で決算報告予算案ともに承認され、申監事より会計監査報告がなされた。

この国では毎日百人近い人が自殺をしているのだ。どう考えても異常である。見逃せないのが、自殺の理由として経済・生活問題が急激に増加している(前年比で一二%増)ことだ。特に経済的な問題による自殺者数は八千八百九十七人。この人たちは、政府がまじめに社会保障制度を整えていれば救えた命ではないか。中でも社会保障制度を整えることなく、剥き出しの市場主義政策を押し進めることよってこれだけの数の人を死に追いやっている小泉内閣は、もはや犯罪的ですらある。小泉首相は、通信社のインタビューで次のようにコメントしている。「どういふ事情か分からないが、あまり悲観的に考えないでがんばってほしい」と、まるで他人事のようなのである。年間に何万人もの人々が、生きることの意味を見出せないような社会を放置しておきながらである。連日のように、経済苦や病気による自殺、若者の練炭による車内の集団自殺などの報道がある。国民の命と健康を守るのが使命としての保険医協会として、この問題にもっと積極的に取り組まなければならない。

医心凡語

自殺者の増加が止まらない。昨年一年間の自殺者数が、過去最高の三万四千四百二十七人に達したという。一九九八年にはじめて年間の自殺者数が二万人を超えて以来、七年間もの間、この国では毎日百人近い人が自殺をしているのだ。どう考えても異常である。見逃せないのが、自殺の理由として経済・生活問題が急激に増加している(前年比で一二%増)ことだ。特に経済的な問題による自殺者数は八千八百九十七人。この人たちは、政府がまじめに社会保障制度を整えていれば救えた命ではないか。中でも社会保障制度を整えることなく、剥き出しの市場主義政策を押し進めることよってこれだけの数の人を死に追いやっている小泉内閣は、もはや犯罪的ですらある。小泉首相は、通信社のインタビューで次のようにコメントしている。「どういふ事情か分からないが、あまり悲観的に考えないでがんばってほしい」と、まるで他人事のようなのである。年間に何万人もの人々が、生きることの意味を見出せないような社会を放置しておきながらである。連日のように、経済苦や病気による自殺、若者の練炭による車内の集団自殺などの報道がある。国民の命と健康を守るのが使命としての保険医協会として、この問題にもっと積極的に取り組まなければならない。

【関連記事 二、三画】

石川県保険医協会理事会

— どうぞよろしくお願いたします —

任期/2005年3月5日から
2007年3月定期総会まで

理事
小島 登
(内灘町・歯科)



会長
井沢 宏夫
(金沢市・内科)



理事
牛村 繁
(白山市・眼科)



理事
西川 忠之
(能美市・泌尿器科)

副会長
勝木 育夫
(小松市・耳鼻咽喉科)



理事
大平 政樹
(金沢市・外科)



理事
服部 真
(金沢市・内科)



副会長
喜多 徹
(野々市町・内科)



理事
小川 滋彦
(金沢市・内科)



理事
平田 米里
(野々市町・歯科)

副会長
西田 直巳
(金沢市・小児科)



理事
奥田 宏
(金沢市・心療内科)



理事
三宅 靖
(金沢市・内科)



【新事務局員の紹介】

社会保障の危機的状况に 強い使命感を感じて



事務局 **東 亮子**

3月23日付けで、石川県保険医協会に勤務させていただくことになりました事務局新人の東亮子です。

初出勤日から、一週間。保険医協会の業務の幅・深さに驚き、不安を抱きながらも少しずつ前に進んでいるという状況にあります。事務局の先輩方には、日々膨大な仕事をこなされている中であっても、私が緊張せず、気持ちよく業務をこなせるように助言・指導していただき、温かく迎えていただいております。現在は、共済担当としての業務を行っております。会員の皆様に信頼を寄せていただいている共済制度の担当として、一日も早く制度・手続きについて習得し、皆様のお役に立てる事務局員として成長できればと思っております。

私は、大学・大学院を通して社会保障論ゼミに所属し、介護保険や社会福祉制度、そして認知症高齢者ケア等の研究を行ってまいりました。このような問題意識や研究が何らかの形で保険医協会や会員の皆様のお役に立てばと考えております。日々勉強することで業務に慣れ、会員の皆様に信頼していただける事務局員を目指して努力してまいります。

生活・人生において必要不可欠な社会保障が今まさに「改革」の旗の下大きく揺り動かされ、その理念や在り方そのものまで変質させようとする動きが出ている状況にあります。このような状況下で保険医協会に勤務させていただくことになり、強い使命感を感じております。社会保障がより強固で安定したものとなるよう自らの問題意識もふまえながら、そのさらなる発展に寄与することができれば幸いです。また、石川県保険医協会がさらなる発展を遂げるために尽力してまいりたいと思います。

ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、末永くご指導くださいますようお願い申し上げます。

新年号コンクール

今年も上位入賞

日本機関紙協会主催の
2005年新年号コンクールは、昨年と同じく
「審査委員特別賞」を受賞し、上位入賞を果たしました。
審査委員の講評が届いておりますので、
下記、掲載します。

審査委員特別賞の講評

審査委員(『きかんし』編集企画室)
福島 耕治

30年の歩みが写真の一覧で一目瞭然です。そして3面で詳しいエトキを付ける、考えたものです。ただモノグサな評者は付け合わせて見るのが、ちょっと面倒に思えました。

応募紙の中で24頁は2紙でした。貴紙はボリュームだけではなく、内容が多彩で中身が濃く、じっくり読みたい気持ちにさせます。

読み進んでいくと、「短歌」や「末息子の結婚」などエモーションある記事や憲法や社会問題など、取材も洞察力があります。山三昧やエッセイなども読者の関心を引きます。総じて読者参加のコンセプトが強く打ち出されています。

紙面はアミを中心にしたシンプルな装飾で、品良く仕上がっています。ただし、アミを使いすぎると紙の性質上うらぬけし、黒ずんだ紙面になりますので、ご注意下さい。

レイアウトは変化に富み、囲み記事や見出しにも様々な工夫が施してありますが、紙面構成では、やや唐突な点があります。例えば読み進んでいくと、いきなり全面広告が行く手を遮ります。あるいは、24面に算数図形クイズが飛び込んでいます。

内容のある編集で、読むほどに評価は高くなること、間違いありません。

第31回 定期総会・記念講演 **まとめ**

偏向報道か被害妄想か

～ジャーナリストから見た今後の医療～

講師 読売新聞大阪本社科学部次長 原 昌平

副会長 喜多 徹 (野々市町・内科)



講師の原昌平氏

今回の総会記念講演の演者は、読売新聞大阪本社科学部次長原昌平氏であり、学部次長原昌平氏であり、頭書のようなささか刺激的な演題名での講演であった。

原氏と保険医協会とのつながりは、京都府保険医新聞に「記者の視点」というコラムを掲載中であり、その内容が医療関係者にとって

は、耳の痛い部分もあるが、問題の核心をついた主張も多く、ぜひ一度来沢いたただいて、直接お話しを聞く機会を持ちたいとご本人に依頼したところ、快く引き受けていただき今回の講演となったわけである。

原氏はまず、医療関係の報道をする読売新聞を例にして、大新聞社の機構、取材体制、最近の医療報道の質的な変化、すなわち専門性・継続性の強化、患者主体の報道への変化等々について解説され、さらに今日のマスコミ報道の問題点、横並び意識、集中豪雨型の過熱報道、記者クラブ制の弊害、記者個人の軽視と集団主義的傾向、政策・問題の分析力の弱体化と言った点を指摘された。

そのような背景を元に、ジャーナリストとして、医師側から出る「偏向報道」という批判」についての分析を、いくつものテーマを取り上げ解説された。

まず、例年、新聞紙上を賑わす「開業医が儲かっている」との報道であるが、開業医の収入の平均を取ると、もちろんその数字に間違いはないのだが、階層別に分けると、平均値より

「開業医が儲かっている」との報道であるが、開業医の収入の平均を取ると、もちろんその数字に間違いはないのだが、階層別に分けると、平均値より

「開業医が儲かっている」との報道であるが、開業医の収入の平均を取ると、もちろんその数字に間違いはないのだが、階層別に分けると、平均値より

持論

昨年末、某高校を舞台とする診療報酬の不正請求事件が発生した。事件はその後、刑事事件へと発展している。事件の概要が報道通りとすれば、明らかな療養担当規則（以下療担）違反、健康保険法違反である。

本紙三月号の会長声明にあるがごとく、深く自省すると同時に、再び同じ事件を繰り返さないために、今一度事件の背景を考えてみたい。

事件の摘発に際して、最も多く使われる弁明は「知らなかった」である。むしろ契約診療という形を承知して保険医登録した限り、その弁明で免罪されるはずはない。しかし、一方で療

「知らなかった」で済まない

不正請求防止は「指導」で

担、医師法、健康保険法などをしっかり理解している臨床医が一体どれだけのだろうか。大卒、卒後研修、勤務医時代・・・多くの臨床医はそうした規則とは無縁のところまで

保険医協会をはじめとする医療団体の非力にあることも重々承知している。もっと会員への啓発に力を注ぐ必要があると分かっているのだが、悲しいかな、われわれの勉強会、講演会には

働大臣または都道府県知事の指導を受けなければならぬ」と規定されている。現在の集団的個別指導に変わる形として、すべての保険医を対象とした指導があってもいいのではないだろうか。

きている。誰も教えず、語らず、学問偏重の中で、そうした知識はむしろ蔑視されている現実がある。そうして事件は繰り返されてきた。

限界がある。会員へのより有効な指導を徹底するためには、どうしても県ならびに社会保険事務局に頼らざるを得ない。

行政、医療団体が協力して、新しい形の指導を模索していく・・・、それが会員の利益、ひいては国民との信頼回復につながるかと信じてやまない。

健康保険法第七三条には「保険医療機関及び保険医は厚生労働省の指導に従う」とある。

健康保険法第七三条には「保険医療機関及び保険医は厚生労働省の指導に従う」とある。

健康保険法第七三条には「保険医療機関及び保険医は厚生労働省の指導に従う」とある。

九条の会「アピール」呼びかけ人 澤地久枝さんと憲法を語る会

演題『私たちの役割』

日時 5月15日(日) 午後1:30～3:00まで(開場は1時)

場所 石川県女性センター大ホール (金沢市三社町)

参加費 1,000円(中高生 500円)

特別報告 県内各地域「九条の会」の取り組み・その他

澤地 久枝 さん

1930年東京生まれ、早稲田大学文学部卒業、幼年期父の仕事の関係から中国東北部(満州)へ渡りそこで敗戦を迎える。中央公論社に就職、編集生活後に五味川純平氏の資料助手として執筆を助け72年「妻たちの2・26事件」を出版。事件の当事者たちからの綿密な聞き取り調査を中心に、周辺諸資料の詳細な検討を加えた実証的な著述は、ノンフィクションという枠を超え、「昭和の語り部」として独自の歴史ドキュメンタリーの世界を構築している。昭和史のおんな(正・続)私家版「鶴彬全集」その他著書多数。

主催 九条の会・石川ネット
連絡先 金沢市大手町9-29 社会法律センター一気付
TEL 076-231-2110 <http://www.9jo-ishikawa.net>

の一連のマスコミの報道姿勢についての医師側からの批判であるが、医師会については、自立・自浄の不足、現状の「非営利」についての建前が世間で通用するの、カルテやレセプトの開示に抵抗を続けた歴史、政治との不透明な関係などは医師会側が反省すべき点が多々あるのではないかと

新制を支持すると言っているが、一部病院の経営優先主義、大学病院等の研究・権威優先主義があり、そしてその根底に日本の病院の人手不足がバックにある。最後に医師とマスコミ界の谷間を埋めるためにどう見れば賛成しかねるが、記者の特性を理解する(記者個人個人は大部分まじめであり、新聞が売れる売れないに関係なく、知らないことは取材し勉強する。間もなく、それなりに有益な講演出席された会員にとっても、それなりに有益な講演であったかと思う。

医療事故関連の記事について考察してみる。年間五万二千人の被害者のうち半数が予防可能であり、入院患者の一〇％に実害があるとのデータもあり、社会問題化は当然である。マスコミはスタッフの姿勢、個人の責任を追及する傾向がある。ただし、それだけでよいのか。医療被害の背景に、医師養成の在り方、免許取得後の問題(その意味で原記者は、医師免許の更

必要に応じてレコ要望を使い分けて説明するなど、以上のような提言をされ、講演を締めくくった。今回の講演については、もちろん独断や思いこみもあり、全面的に原記者の意見には賛成しかねるが、とにかく医療界のことを幅広く勉強・取材され、確固たる自身の考えを持っておられることが分かった。また、出席された会員にとっても、それなりに有益な講演であったかと思う。

今回の講演にあたって、ほかに日本の社会保障に対する意見や生活保護の問題など、原記者の得意とする分野の講演材料も用意されたが、残念ながら時間が都合で講演では割愛された。機会があれば改めて何う機会を作り議論を交えたいと思つた。

三月一日第十八回理事会では、協議事項としては定期総会前最後の理事会であり、総会アピール内容の最終確認が行われた。また、心身障害者医療費助成制度等の存続拡充を求めて石川県知事に緊急申し入れの決議がなされた。

報告事項としては総務部より事務局員交代人事、大川さん長年ご苦労様、東さんこれからよろしく。核戦争を防止する

3月度 理事会 点描

今期最初の理事会が三月十五日、当協会会議室で開催されました。四月からの個人情報保護法施行への対応、方針と規定などが提案・了承され、四月二十一日(木)に講演会を開催し、保団連作成のテキストの普及に取り組みことになりました。

今期の役員体制が提案された承りましたが、引き続き新たな部員補充の必要性が指摘されました。今期の課題として、能登地区などの会員懇談会の開催やモニターの方との懇談などが提案されました。

久しぶりに工藤事務局員から医療介護制度関連

第18回 理事会点描 大川事務局員退職 東事務局員入局

(3月1日・13人出席)

石川医師の会より四月十日、池田香代子講演会の前売り券を五百円にて発売。歯科部より英会話が不得手の歯科医でも外国人に分かりやすく歯科治療や指導が行える『手差し会話帳』が完成した。機関紙・文化部より石川県保険医協会創立三十周年記念として『医心凡語集』が完成し、発刊されることなどが報告された。

【西川記】

2005年度 第1回 理事会点描 新年度理事会も 夜中まで活発に

(3月15日・11人出席)

記事の紹介がありまして、特定療養費として認める予防的処置などのリストが提出されたこと、医師主導の治療における検査や画像を保険給付することなどが紹介されました。

最後に、三月で退職される事務局の大川さんと新人の東(あずま)さんの業務引き継ぎ・研修計画・就業規定の見直し、雇入れ時教育などが提案された承りました。

大川さんには長い間保険医協会を支えていただきました。一同深謝。

今回も報告や議題が多く、二十三時近くまで活発な議論が続きました。

【服部記】

大川さん 東さん 新旧事務局員 歓送迎会

二十五年度の 経験を次代に

副会長 西田 直巳 (金沢市・小児科)

三月三十日、金沢都ホテルにて新旧事務局員の歓送迎会が行われました。主賓は、二十五年間勤めて退職される大川せつ子事務局員と、新たに就職される東亮子(あずま りょうこ)さんです。

歓迎会は、長い間協会の財政、共済、会員管理を葉、神田事務局長の大川さん、平松顧問の乾杯のあと、すぐに宴会に移りました。

少しアルコールが入り、舌がなめらかになったところに、勝木副会長の感謝の言葉、神田事務局長の大川さん、平松顧問の乾杯のあと、すぐに宴会に移りました。

その後、はるばる富山から大川さんの送別に駆けつけていただいた、前富山協会事務局次長の勝田登志子さんから、石川協会と大川さんの果たしてきた足取りを懐かしく語っていただき



退職にあたってあいさつする大川事務局員(中央)と、その左が新事務局員の東さん

囲碁解答

黒1が急所以下5までコウが正解。白4でイは黒白黒5で白死す。

黒3で5は白コ、同じく黒3で白は白5で活き。黒1で3は白1で活き。黒1でイは白4黒1白5でやはり白活きです。

(問題は10面にあります)

将棋解答

2三角成、同玉、3三銀、1二玉、1三角成、同玉、1一飛成、1二金、同竜、同玉、1四香、2三玉、2四金まで十三手詰め。

(解説) 1一飛成は、2三玉、2二竜、1四玉以下守りの飛車か利いてきて詰みません。2三角成から3三銀と打ち替えるのが好手順です。2三玉なら2一飛成、1四玉、1三角成以下の早詰め、1三角成から1一飛成と追い、1二桂合いなら1五香以下、金桂以外の駒なら2二竜以下いずれも早詰めです。最善の金合いに同竜と取り追い詰めに。

(問題は10面にあります)

「個人情報保護法」説明会のご案内

個人情報保護法の4月全面施行に伴い、医療機関に求められる情報開示のあり方について保険医協会では下記の通り説明会を開催します。

講師の佐伯康博弁護士は、富山協会が3月半ばに開いた「個人情報保護法」説明会で立法の背景、目的から個人情報取扱事業者の義務、医療機関における具体的な対応(どうした場合に患者の同意が必要になるのか、カルテ開示との関係はどうなるのか、保険会社など第三者からの照会にはどの程度回答していいの)まで多くの疑問点について解説されています。ぜひご参加ください。

テーマ 個人情報保護法全面施行と医療機関における留意点

講師 佐伯 康博 (富山県保険医協会顧問弁護士)
工藤 浩司 (石川県保険医協会事務局員)

とき 4月21日(木) 午後7時半~9時

ところ 金沢都ホテル 7階 (JR金沢駅東口 電話076-261-2121)

参加対象 会員(医師・歯科医師)及び管理職(事務長等)

参加費 無料

【申込み】 会員名・医療機関名・参加人数をFAXにてお早めにご連絡ください。

【主催】 石川県保険医協会 電話 076-222-5373 FAX 076-231-5156

決意させたのは、事務局員の新旧交代に対しての思いであることが述べられました。

最後に、大川、東両人へ平田歯科部長から花束と記念品の贈呈があり、喜多副会長のあいさつで締めとなりました。

新しく就職される東さん

第9回 会員デビュー講演・シンポジウム①

テーマ

白内障手術は開業医で

日帰り手術も可能に

やなぎだ眼科クリニック院長 柳田 隆 (金沢市・眼科)



講師の柳田隆会員

私は、昭和四十八年(一九七三年)に金沢大学を卒業し、直ちに故米村大蔵教授が率いておられた眼科学教室に入りました。金大病院には、米国への二年間の留学期間を含んで十四年間在籍し、昭和六十二年(一九八七年)に国立金沢病院(現金沢医療センター)に赴任、金大病院と同じく十四年間勤務しました。国立病院にはできれば定年まで勤めたいと思っておりましたが、体力の低下とともに同病院の医療に求められる高いレベルを維持することに困難を感じるようになり、年齢的にはかなり遅くなり、年々年齢的にはかなり遅くなりましたが、平成十三年(二〇〇一年)十一月に開業しました。

硝子体に手術操作を加え、混濁した硝子体を切除する装置が金沢大学附属病院に導入されたのが一九八〇年ごろ、白内障手術で眼内レンズを挿入することを厚生省(当時)が正式に認可したのは一九八五年であり、その後急速に進歩したこの分野の手術に遅れまいとすること、私は眼科医として成長することができました。私が初めて白内障手術を執刀させてもらったころは、ほとんど見えなくなつた人が光を取り戻すというレベルのものでしたが、今や読書はもちろんのこと、自動車運転免許証更新のために手術を受ける時代です。また、それくらい高い要求にも応えられるほど手術の機械も手技も進歩しました。三、六ミリメートルの小切開で手術を行えば、術後の安静はほとんど必要ではなく、遠距離あるいはその他の理由で通院が困難な人でないかぎり長期間の入院は必要ありません。また、高齢者の場合、入院生活によって生活のリズムが乱れ、かえって体調を崩す人も時には見られます。私は原則として一泊入院で白内障手術を行っていますが、「翌朝来院することができれば日帰りも可能です」と説明しますと、一手術日に一、二人が日帰り手術を希望されることも

あります。これまでに、日帰り手術にしたために大きな問題が生じたということはありません。しかし、これは手術が簡単になったということではありません。超音波乳化吸引術が主流となつていて現在の白内障手術は、水晶体後囊破損や水晶体核落下などの合併症と常に背中あわせの手術であり、一歩間違えば失明につながる可能性があるので、病棟の稼働率が下がることなど、多くの問題があつて難しい面もあるのではないかと思います。また、術後の視機能が、自覚症状や視力などによって本人に明確に自覚されないので、術者にとっては大きな精神的負担になります。患者さんの中には「白内障の手術は簡単だそうです」といいますが、そういうときは「患者さんにとつては楽になったけれど、私

歯科講演会のご案内

近年、証拠に基づく医療(Evidence Based Medicine; EBM)が注目を集めている。歯科においてはEvidence Based Dentistry; EBDということになる。医療に証拠を求めるならば、その方法論が存在しなくてはならない。従来から、疫学と医療統計学は、こうした方法論と関連した重要な学問の分野であった。一方で、人々は自分が受けている医療や保健施策に対して、より明瞭な説明を求めようになってきた。EBM/EBDが広く用いられるようになり、医療や保健の従事者が採用すべき方法の根拠が指示され、また、人々に対して説明できる根拠が提示されるようになることが期待されている。今回の講演では、う蝕予防の様々な理論や技法についていくつか取り上げ、その証拠の程度(医学的な証明)および費用便益(社会的な適用性)について検討し、EBM/EBDに基づくう蝕予防を理解する場としたい。

- テーマ EBMに基づくう蝕予防 (最新EBMに基づく歯科講演会シリーズ 第1弾)
講師 八木 稔 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科助教授)
とき 5月15日(日) 午前10時~正午
ところ 金沢都ホテル 会議室 (JR金沢駅正面/TEL.076-223-1111)
参加対象 歯科医師、歯科衛生士、保健師

講師履歴
1980年 新潟大学歯学部歯学科卒業
1982年 新潟大学歯学部(予防歯科学講座)助手
この間、新潟大学医療技術短期大学、新潟大学教育人間科学部の講師を併任
2003年 新潟大学大学院医歯学総合研究科(口腔健康科学講座)助教授
専攻分野: 予防歯科学、医療統計学
所属学会: 日本口腔衛生学会(評議員、認定医)、日本公衆衛生学会、日本歯科医学教育学会、米国公衆衛生歯科学会ほか。

“人間と性”教育研究協議会 第13回 石川セミナーのご案内

テーマ あなたらしく わたしらしく

~それぞれの自立と共生をめざして~

講演 愛するってどういうこと? 一知らないうちにあなたもDV被害者、加害者一
【講師】山口 のり子さん (アウェア代表、DV加害者プログラムファシリテーター)

主催 “人間と性”教育研究協議会石川支部
後援 石川県、金沢市教育委員会、金沢市男女共同参画室、(財)いしかわ女性基金、石川県高等学校教職員組合、石川県教職員組合、石川県教組金沢支部、石川県社会福祉協議会、いしかわ子育て支援財団、石川県保険医協会、金沢CAP、金沢子ども劇場
日時 2005年5月29日(日) 9:30~15:30
場所 石川県立生涯学習センター 1号館 (旧石川県庁新館) 金沢市広坂2丁目1番1号 Tel. (076) 223-9571

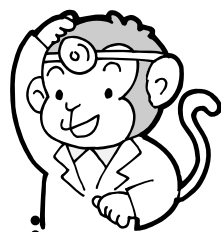
日程表: 9:30 受付, 10:00 分科会 3階 各室, 12:00 昼食(各自) 受付12:30~, 13:00 講演 3階 大会議室, 15:30

分科会: 第1 ふたりの関係まちがっていませんか? ~山口さんのワークショップ~, 第2 障害児(者)の生と性を考える, 第3 高校模擬授業 「性暴力って何?」

参加費 一般 2,000円, 性教協会員 1,000円, 学生など 500円, 講演または分科会のみ 1,500円

入場券 振り込みの控えが入場券になりますので、当日必ずご持参下さい。

【参加申し込み・お問い合わせ先】(5月16日締切)
性教協石川 事務局 末友
TEL 263-0607 (夜間・休日、自宅) // 267-0564 (平日日中、大徳小)
FAX 231-1619 (24時間自動)
性教協Eメール: 担当/秋元 tuky@spacelan.ne.jp



おサル先生の 在宅医療入門

小川 滋彦(金沢市内科)

『在宅NSTの訪問栄養指導』の巻(その六)

これまでの五回の連載を通じて、訪問栄養指導の具
体例をフィクション形式で
お伝えしてきた。では、わ
ざわざタイトルに「在宅N
STの」を付けたのはなぜ
か。

NSTとは栄養サポート
チームの略語であり、「チ
ーム医療」である。ここで
登場する管理栄養士は、専
門職としての役割を果たし
たわけであるが、あくまで
も「チーム医療」の一員と
しての仕事である。彼女の
仕事の前に、本来なら歯
科医と歯科栄養士による歯
科治療や口腔ケアがなされ
なければならぬし、言語
聴覚士による摂食嚥下の評
価とリハビリテーションも
同時に進めればもっと良か
っただろう。さらに、本例
はその後、咽頭癌の進行に
より胃ろうを受け入れてい
かねばならず、経腸栄養管
理となり医療的なケアの占
める割合が大きくなるが、
その状態になっても支えて
いかなければならない。口
から食べられていない間だけ
熱心に介入して、胃ろうに
なったらもう知りません、
などと言うことはありえな
い。おそらく信頼を寄せる
理栄子の説得なら、そして
栄養の意味を体で理解した
ら食べる楽しみ(生きが

い)から「栄養がちゃん
と取れているか(栄養管
理)」まで、その切り口は
多彩で、その包括するもの
は広く深く重要な意義を持
っていることは、この連載
でもお伝えしました。考え
てみれば、在宅や地域にお
ける患者や要介護者にとど
まらず、広く地域住民のQ
OLを支えるものは、まさ
に「食」ではないでしょう
か。

この企画では、一昨年共
催した石川県言語聴覚士会
のご協力を得て、「食・栄
養」に関わる各専門職がこ
のテーマに迫る予定です。
当協会歯科部と学術・保険
部が総力を結集して開催す
るシンポジウム。すべての
医療職・介護職の皆さまに
ご参加をおすすめします。

そのような願いを込め
て、「在宅NSTの」と付
けさせていただいた。
◇

石川県保険医協会の人気
シリーズ「医師とコ・メデ
イカルのための講演会」と
して、「食を考える」をテ
ーマに取り上げます。一口
に「食」と言っても「口か
ら食べる楽しみ(生きが

医師とコ・メディカルのためのシンポジウム2005

とき 2005年7月3日(日)午後1時半~4時半
ところ 金沢市観光会館 2階 大集会室

テーマ 食を考える~食べるための工夫~

【第1部】各専門職からのメッセージ

- 1) 歯科医の立場から(小島歯科医院 小島登)
- 2) 歯科衛生士の立場から(辰口芳珠記念病院 村田ゆかり)
- 3) 言語聴覚士の立場から(城北病院 竹内満)
- 4) 内科開業医の立場から(小川医院 小川滋彦)
- 5) 管理栄養士の立場から(金沢調理師専門学校非常勤講師 手塚波子)

【第2部】総合討論(シンポジウム)

【第3部】まとめと展望

*内容は変更になる場合があります。詳しくは、後日、案内チラシをお送りします。

定員 200人(定員に達し次第、締め切らせていただきます)

資料代 500円

申し込み

保険医協会までFAXまたはE-mailで
(医療機関名・電話番号・職種・フル
ネームを記載してください)

主催 石川県保険医協会・石川県言語聴覚士会
電話:076(222)5373 FAX:076(231)5156
E-mail:iskw_sugino@doc-net.or.jp

The (7回シリーズ) 管理栄養士



その② プレママと「食育」

橋本寿美子(金沢市めぐみクリニック)

血糖検査に来られた患者さまが「あれ?今日は血糖絶対にいいと思っ
たんになんで200もあるんやろう・・・」。

どうしてかと尋ねると、「お昼のテレビで体にいい食べ物やっ
って・・・」という訳で、どうも「黒豆きな粉入りはちみつ牛乳」を毎晩
寝る前に飲んでた様子。こちらとしては、ため息。せっかく食事療法
で血糖も安定してきた矢先のFBS200でした。

こんな風に、マスメディアからの何気ない健康情報(特に食に関する
情報)が誰にでもあてはまると判断され、とんでもない結果につなが
った経験はドクターの皆様にもあるのではないのでしょうか。私も以前、十
数年お世話になっていた病院でこんな経験はたくさんしてきました。逆
に言えば、いかに「健康食」に対する関心が高いかが伺えます。ただ、
「万人にあてはまる」と判断されることが落とし穴でしょうか。「健康食」
に関する番組も多数放送され、視聴率も高いとか。「健康になりたい」
「健康でいたい」という願望は、だれもが抱いていると思っていました。
今の職場にお世話になるまでは・・・。

今、私は産婦人科でお世話になっています。きっかけは「妊娠前期の
母親教室で食事の話の担当をして欲しい」とのお話からでした。このお
話をいただいた時、私は「今から母親になる準備をしている人は本など
でいろいろ勉強して、私が今さら「栄養が」「食事が」と話しても「そん
なこと知っているわよ」と言われるだけじゃないの」と思いました。そ

れでも、「確認の意味で」とのことでお引き受けすることにしました。そ
のほかにも、妊娠中毒症予備軍の方の栄養指導を依頼されることとなり
ました。

そんな中で感じることは、妊婦さんの「食べ物への関心の低さ」です。
仕事を持っている方も多く忙しいのも分かりますが、「おなかが膨らめば
よい」方が多いようです。三食とも「納豆かけごはん」や「卵かけごはん」
「ふりかけがあればOK」なんていうプレママもたくさんおられます。
これにはびっくりでした。

また、体重増加が激しく、話を聞けば「芋類が好きで芋は野菜だから
毎食必ず食べています」ということでした。「芋類は炭水化物で野菜で
はなく、どちらかといえば米等の仲間なのよ。食べ過ぎは太るもとよ」
と話すと「もっと早く聞きたかったあ〜」と後悔の返答。私も早く教え
てあげられていれば・・・との後悔。片や健康情報には目ざとく何でも
自分の生活に取り入れようとしているのに、今から母親になり子どもや
家族の食生活の基盤を作る立場の人がこれでは・・・。生活習慣病発症
の若年化も理解できます。いくら幼稚園や小学校で「食育」を取り入れ
ていても母親がこれでは不十分かな・・・、なんて思わずにはいられませ
ん。

今の自分は、非力でまだまだ足りない面も多々ありますが、自分も一歩
一歩前進しながら、少しでも多くのプレママたちに自分たちの食生活を見
直し、改善してもらえる手助けができればと思っています。



福祉を支える人たち

その42

心身障害者小規模授産事業所「いきいき作業所」

住民のはげましで やさしい気持ちに

「いきいき作業所」 指導員 中前 美登里

●連絡先●

心身障害者小規模授産事業所
「いきいき作業所」
〒927-0026 穴水町大字大町口-80
☎0768-52-4377

在宅障害者の 仕事の場として

障害者の人たちは、中学または養護学校卒業後に就労している人は、ほんの一手握りで、遠くの施設に入るか、在宅になるといふ人が多いうです。在宅の人たちは、日中どのような活動をしているのでしょうか。



長谷部祭りに参加。奥方、姫君と一緒に（後列右が筆者）

県の施設に働きかけ、また地域の障害者の保護者にアンケートを取った結果、ぜひにという要望もあり、二〇〇一年十一月、穴水町手をつなぐ育成会が発足しました。

ところが、「親の会に入会を希望する」に○を付けても、いきいき作業所に通所させるとなると二の足を踏む人が多く、人数が集まらないうという問題がでてきました。何件かのお宅に訪問しお話をうかがいましたが、開口一番「作業するなんて無理や、いままらそんな所へ行っても動まらん」という答えが返ってきました。

何より仕事ができないやっだと言われ、指導員に怒られるのではないかと、周りの人たちに受け入れられるのかという不安が一番だったようです。保護者の方の不安を感じ取り、私も行きたくないと言えぬ人や、保護者の方の心配をよそに、どんな作業内容なのかと興味を持って、自分から行きたいという人も出てきました。

作業所の主旨を話し、不安を残しながらも理解を得て、九人の方が通所してくるようになりました。多くの人たちの支援協力により、二〇〇一年四月一日、心身

障害者小規模授産所が開所されました。

最初に取り組んだ作業はウエス作りで、古着をはさみで切っていくという単純なものでしたが、手の器用さや、飲み込みの早い遅いの差は当然あることで、様子を見に来られたお母さんが「やっぱり無理じゃないか」と言っていたため息をついて帰りましたが、本人は楽しそうに、黙々と布を切っていました。



県の施設のアトラクションで踊りを披露

実を言えば、保護者の方の不安は、同時に私自身の不安でもありました。何十年という年月を、人に縛られることなくゆったりと暮らして来た人々です。生活習慣が突然変化することについていけるのか、疲れが出て、みんな来なくなってしまうのではないかと心

配していたのです。実際、風邪をひいてからしばらく出て来られないようになっ人もいました。植物が水を吸って葉を広げていくように、色々なことに興味を持ち、人や、活動内容にすぐに順応するたくましさを持つていくことに驚かされました。いつの間にか不安は消え、日々時間を共にするうちゆったりとした空気に包まれ、やさしい気持ちになっていました。

多くの人との交流で 隠れた能力が

現在、十四人が通所していますが、二十歳代から、上は七十一歳という年齢の幅があり、散歩に出ても差が出てしましますが、速い人は待ってあげたり、遅い人ははついていこうと頑張るようになっていきましたが、

り、互いにカバーしあい、刺激を受けたりとバランスがとれているように思います。作業所では扉をオープンにし、地域の人たちと交流するようになっていきましたが、

作業所では扉をオープンにし、地域の人たちと交流するようになっていきましたが、

はぎの郷 特別記念講演会のご案内

日時 5月12日(木) 午後2時~4時(開場1時半)
場所 金沢市駅西健康ホール「すこやか」(地図参照)
テーマ 「これからの自閉症・発達障害児者支援の課題と支援センターへの期待」
講師 社団法人 日本自閉症協会 会長 石井 哲夫氏
参加費 無料
4月28日(木)までに、お名前・所属・連絡先を明記の上、メールかFaxにてお申し込みください。
主催 社会福祉法人つくしの会 自閉症成人施設はぎの郷

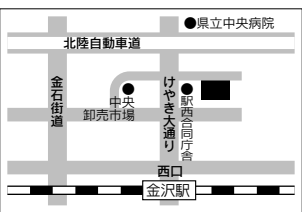
社団法人日本自閉症協会石川県支部、特定非営利活動法人アスペの会石川、金沢エルテの会、特定非営利活動法人ケネット知楽市、特定非営利活動法人ガフ、障害者と健常者の将棋交流を推進する会「毘沙門塾」、学校法人金城大学短期大学部、社会福祉法人石川県社会福祉協議会、日本保育協会石川県支部、石川県保険医協会、朝日新聞金沢総局 他(マスコミ各社に申請中)

「自閉症・発達障害支援センター」 設置に向けて

自閉症・アスペルガー症候群など、特異な発達障害のある人たちが家族への支援を求め、地域で安心して生活できるような体制をつくるために、各都道府県に1箇所を目標として「自閉症・発達障害支援センター」が設置されてきました。また昨年暮れの発達障害者支援法の成立により、対象範囲はLD(学習障害)なども含め広がりました。

事業(軽度発達障害のあるお子さんの療育相談窓口、関係機関に対する普及・啓発活動)を開始しました。そちらと連携をとりながら、相談支援・就労支援事業等も整備し、総合的な自閉症・発達障害支援センターとして展開したいと考えています。そこでこの度、日本の自閉症・発達障害者のパイオニアであり、東京の自閉症・発達障害支援センター長でもいらっしゃる石井哲夫氏をお招きして、これから自閉症児者とともに歩む上での重要な課題、そして支援センターが果たすべき役割についてお話をいただき、石川県の展開についてもご助言を賜りたいと考えております。

【講師略歴】 東京生まれ。東京大学文学部卒、日本社会事業短大専任講師、日本社会事業大学教授・白梅学園短期大学学長を経て、現在、白梅学園短期大学名誉学長、日本社会事業大学名誉教授、日本保育協会理事・研修企画委員、日本自閉症協会会長、全国保育士養成協議会会長、社会福祉法人旭常務理事(須藤福祉センター所長、子どもの生活研究所長)、東京自閉症・発達障害支援センター長



※駐車スペースが限られております。団体で参加される方は1台に乗り合わせるなどご協力をお願いします。

【お申し込み・お問い合わせ先】
社会福祉法人 **つくしの会**
自閉症成人施設 **はぎの郷**
〒929-0443 石川県河北郡津幡町別所へ1番地
TEL 076(288)0339/FAX 076(288)0340
E-mail tsukushi@hagino-sato.com

います。コミュニケーションをとることで、アイデアが、グラウンドで元気よく跳び回る声を聞きながら、今日も作業をしています。ぜひ皆さん、お立ち寄り下さい。

のぼる君の新刊紹介⑨

『ウソのない医療 がん患者と「カルテ開示」』

小島 登(内灘町・歯科)

人間の尊厳を深く考えさせられるテーマである。それでも、これからは、患者のために医師が、家族が、患者らしく生きること考え抜き、悩んでいこう。

日常診療のインフォームド・コンセントの大切さをつくづく感じるとともに、歯科治療においても、パターンリズムにならずに、患者が自分で決められるだけの正確な情報を伝え、納得して治療を受けられることを心がけたい。



- 協立総合病院患者会連合会 編
- 四六判上製
- 270頁
- 定価 1,500円(税別)
- 風媒社
- ISBN: 4-8331-1046-6

1. がん療養体験発表会

がんであることは何も特別なことではない。死亡原因の第一位は、がんである。がんは進行がんであっても、余命が比較的是っきりしている。この時間の中で多くの人はがんであるという真実を知り、がんで自分の命を奪われるという非情さと葛藤し、やがて死を受容し残された人生を生き抜く。

ごくありふれた人が、ある日がんの告知を受け、真実と向き合っどどのように生き抜いているかを紹介している。それぞれの姿の中にがんという真実を受け止めた人の人間らしさがあふれている。

2. カルテ開示

気軽に見ることが出来る機会が重要と思っている。隠し事がないという安心感が信頼にもつながり、対話のための良いきっかけとな

っている。

これまで、見て・聞いて・感じたままの本音を、普通に考えれば人権侵害だと思われるようなことまでカルテに記入していた。また、看護師が感情的な記述や患者の評価までを書いていたが、事実をありのままに書くようになった。他の看護師や患者本人は、カルテに書かれたその事実をみて

判断するようになった。

まず開示を先行させて、そのうえで批判を受けながら要望にこたえるカルテを作っていく、自然なかたちでカルテ開示が広がればと思っている。

3. 告知の現状

がん告知が行われない場合、誰の意思によって告知されないのかを考える時、日本では多い順から並べると、医師・患者家族・患者自身となる。患者自身の意思により知らされていない場合はまれだ。

がん告知は医師の判断に任されている。しかし、患者の受容能力の判断ができないから非告知の立場をとる医師は多く存在する。重い医療情報を伝えることは患者本人を苦しめるだけで、よりよい闘病生活を導き出す自信を持つことができなかった。

4. 段階的告知

知る権利は患者固有の権利であり、家族といえども、まして医師などが侵害してはいけない権利だと思う。自己決定権で選択され、その選択が誤らないように医療者はできるだけ正確な情報を提供し励ます。

真実を受け止める心の準備があるかどうかを確認後、医療の流れに沿って分かったことをうそのないように説明していくことが、患者の受容能力も、患者と医療者の人間関係も、そして段階的告知にもつながると思う。

医療が始まった時点から真実を告げていくことは再発時の受容につながり、そして自覚的に死を受容し、残りの人生が凝縮されたものになる。

5. がん告知の試み

告知の是非は患者の意思によって決定し、告知する場合には家族に患者本人が告知を望んでいることをお話しして告知に同意を求め。家族にがん告知の決断を迫ることや家族の告知に対する考えを聞くようなことはしない。しかし、家族には患者の支えになってもらうために、同意してもらうことは必要と思っている。

告知後発生する様々な問題については、経験を積み重ねることの可能な医療機関が責任を持って行うべきものであると思う。告知をされたときの衝撃は非常に強いものがあるが、一定の時間を要したとしても受容し、人は強く生き抜いていく。自分の苦痛の正体が分かっていることは、正体不明の原因からくる苦痛よりしのぎやすいように思う。

また、重い医療情報の共有は患者に関わる人たちの強い絆を生み出し、残された人生が短ければ、だれもがその人生が輝かしいものであって欲しいと願う。

第20回 保団連医療研究集会

メインテーマ

ひろめよう! 保団連・開業医宣言
発展させよう! 安全・安心の医療
戦後60年を迎えたいまこそ

開催日時・会場

2005年10月8日(土)~9日(日)
大阪・三井アーバンホテル大阪ベイタワー
大阪市港区弁天1-2-1(ORC200内) TEL.06(6577)1111

開催規模

1,000人(医師、歯科医師、コ・メディカル、コ・デンタル、家族、保健・福祉関係者、患者・市民、協会事務局など)

参加費(集会参加費)

- 医師、歯科医師(8,000円)
- コ・メディカル、コ・デンタル、家族・従業員(500円)
- 患者・市民(500円)
- 〈その他〉○懇親会費(8日夜)(10,000円)
- 昼食代(9日昼)(2,000円)

企画の概要

1日目/10月8日(土)

1. オープニング行事 15:30~15:45
2. なにわ言葉で語る
「保団連開業医宣言」 15:45~16:15
〈演者〉寺谷一紀氏(元NHKアナウンサー)
中村 厚氏
(大阪府保険医協会副理事長)
3. 記念講演(市民公開) 16:15~17:45
〈講師〉アグネス・チャン氏
(日本ユニセフ大使、教育学博士)
「私が日本を好きな理由
—世界の中の日本の役割」
4. レセプション 18:15~20:00

2日目/10月9日(日)

1. 分科会(6テーマ)・ポスターセッション 9:00~12:00
(①「在宅医療・介護」、②「内科診療の研究と工夫」、
③「歯科診療の研究と工夫」、④「公害・環境・職業病」、
⑤「医学史・医療運動史・医療と裁判」、
⑥「子どもの健康と医療」)・ポスターセッション
2. シンポジウムI(国際シンポジウム) 13:00~15:45
「医師・医学者の戦争責任を考える—関東軍731部隊をめぐって」
3. シンポジウムII 13:00~15:45
「自殺問題—とくに中高年の自殺に焦点をあてて」
4. シンポジウムIII 13:00~15:45
「勤務・開業女性医師の労働環境はいまどうなっているのか、
どう変わろうとしているのか」
5. フォーラム 13:00~15:45
「歯科医院における偶発症予防と救命処置」

分科会・ポスターセッション 演題募集

保険医協会にお申し込みください
演題募集の締切 5月31日
抄録原稿の締切 6月30日

お問い合わせは 保険医協会まで ☎076(222)5373

準備等の都合で企画内容が変更となる場合もあります。あらかじめご了承ください。

主催●保団連 主務●大阪府保険医協会/大阪府歯科保険医協会/大阪府保険医協同組合



さすが、わが愛する手取川

松本 吉典(金沢市・内科)

「手取川」蔵元、吉田酒造を訪ねて

二月十一日、保険医協会の文化企画として「酒蔵見学会と寿司懐石」が開催されました。酒蔵は白山市の吉田酒造で、寿司懐石は同じく白山市にある福喜寿司を会場にしました。当日は真冬の企画でありながらも二十五人が参加しました。石川民医連がバスとドライパーを提供くださり、格安の参加費で有意義な一日を過ごすことができました。

このツアーに参加いただきました金沢有松病院の松本吉典院長から、当日の様態を詳細に記録した原稿が寄せられましたので、今号および次号の二回にわたってご紹介します。

出発の朝、車中にて

本年年明け早々、保険医事の投稿お願いします」とある今回の催しについて、大平先生のご尽力のお陰との説明あり。さらに神田事務局長から、池田香代子講演会(四月十日開催)援助のための一言集を作りたいから、何か一言書いて欲しいとの要請。人質のわれわれ

二月十一日当日、浮き浮きした気分で見学。窓の外を見ると、会場の文化行事に極力参加したいのですが、投稿依頼を受けるのが怖くて参加してはビックリ。予定どおり行なわれたか心配しながら、集合時間確認のために村田祐一先生のお宅へ電話。先生はまだ床にいたみたいで起こしてゴメン。さて、定刻十分前に集合場所に着。バスの中を見



酒蔵で説明に聞々入る筆者(中央)

れはそれでも気持ちよく、かつ懸命に考えて協力しました。転んでもただ起きなな等々、ワイワイガヤガヤやっているうちに、バスは軒先に大きな杉玉がつるされた(新酒が出来た合図)白山市の吉田酒造宅に到着。

お座敷説明会にて

到着後、お座敷に招じ入れられ、資料一式を頂き、ついで吉田隆一専務理事さんより、社歴及び日本酒の受けた。気付いたことを二三記してみます。(一) 特記したいのは、全国新酒鑑評会金賞受賞歴ほぼ中央にあり、霊峰白山

はがっくりにくるが、旅の最後の大西洋航海が圧巻である。主人公たちは蒸気船でイギリスに急ぐのだが途中で石炭がなくなってしまう、それならと燃やせるものはすべて燃料として使い、木造部分が剥ぎ取られて船が裸になっていくのだ。そのかわいそうな船の名前がヘンリエッタ号。その船長は映画「駅馬車」で有名な御者を演じたアインディ・ディバインである。ヘンリエッタとは行つてくれたのである。なお、二〇〇四年にジャッキー・チェンがリメイク版を製作した。出来映えが楽しみである。

八十日間世界一周

映画狂のぶやき ② おすすめの1本

奥田 宏(金沢市・心療内科)

昔「兼高かおる世界の旅」というテレビ番組があった。そのテーマ曲が「アラウンド・ザ・ワールド」。アルフレッド・ニューマンがこの映画のために作曲した広い世界に、彼が過去何度も候補になりながら、その死後アカデミー作曲賞を獲得した叙情あふれる名曲である。ジュール・ヴェルヌの原作を当時エリザベス・テラーの夫だったマイケル・トッドが映画化した。一九世紀後半デビッド・ニープン扮するイギリス紳士が八十日で世界一周すると賭けに出る、メキシコのコメディアンであるカンティンフラス扮するバスパトゥを召使いとして雇い、旅に出る物語である。映画としての出来は決してベストではないのだが、各地を冒険して回り、文字通り楽しく世界への旅に人々を誘う魅力的な作品だった。そしてこの映画の売りは名優をずらりゲスト出演させたことである。でも、主役も素敵なのだ。後に精神世界の不思議さを紹介したシヤリー・マクレーンがインドのお姫様の役で出ていたことを特筆したい。途中に寄る日本の描写を撃たれて散々な目に遭

(つづく)



三宅 靖 (金沢市・内科)

前回ビデオポーカー(以下VP)でロイヤルストレートフラッシュを一日に二回ヒットしたことを紹介いたしました。今回は比較的高額の賞金が見込めるゲームとしてこのVPを例に少

うものことです。(以下ロイヤルと記載します) ギャンブルをするからには、ひそかに一発大勝ちを狙ってみたいのもこれまた無理からぬことです。そこで今回は、あたる確率はとても小さいけれど、高額賞金を得られるゲームを繰り返した時の勝ち負けについて考えてみたいと思います。話を単純にするため

も同じ1/eになり、二回、ばれば必ずロイヤルにめぐらされるかというところ、市民から存続の運動が起こり結局第三セクター「万葉鉄道」として生まれ変わった。「アイトラム」という低床の新型車両も導入され、高岡、新湊市民の大事な足となっているという。真つ赤なアイトラムにぜひ乗りに行きたい。

このように見ると、わが県民は、隣県に比べて何と鉄道に冷たいと言いか諦めが早いのだろうかと思つづく。もちろん福井でも、富山でもやっとなり続いた鉄道を今後維持するには、それ相当の苦勞はされると思うが、経費のかかる、鉄道何かやめてバスで十分。それにみんなマイカーを持っている時代じゃないかと言

う意見もあるだろう。しかし鉄道には、定時制、安全性、環境対策、エネルギー対策に、ほかにはない長所がある。地域のインフラとして、限らない「重み」を持つものと思う。言い換えれば「鉄道もない地域」とは、それくらいはどうしようもない「超過疎地」と自ら宣言するようなものではないか。

北陸新幹線も能登空港ももちろん大事だろうが、その陰に隠れて、何か大きなもの、大事なものが失われて行くような気がしてならない。

定されたところ、市民から存続の運動が起こり結局第三セクター「万葉鉄道」として生まれ変わった。「アイトラム」という低床の新型車両も導入され、高岡、新湊市民の大事な足となっているという。真つ赤なアイトラムにぜひ乗りに行きたい。

ロイヤルフラッシュ物語

前回ビデオポーカー(以下VP)でロイヤルストレートフラッシュを一日に二回ヒットしたことを紹介いたしました。今回は比較的高額の賞金が見込めるゲームとしてこのVPを例に少

うものことです。(以下ロイヤルと記載します) ギャンブルをするからには、ひそかに一発大勝ちを狙ってみたいのもこれまた無理からぬことです。そこで今回は、あたる確率はとても小さいけれど、高額賞金を得られるゲームを繰り返した時の勝ち負けについて考えてみたいと思います。話を単純にするため

も同じ1/eになり、二回、ばれば必ずロイヤルにめぐらされるかというところ、市民から存続の運動が起こり結局第三セクター「万葉鉄道」として生まれ変わった。「アイトラム」という低床の新型車両も導入され、高岡、新湊市民の大事な足となっているという。真つ赤なアイトラムにぜひ乗りに行きたい。

このように見ると、わが県民は、隣県に比べて何と鉄道に冷たいと言いか諦めが早いのだろうかと思つづく。もちろん福井でも、富山でもやっとなり続いた鉄道を今後維持するには、それ相当の苦勞はされると思うが、経費のかかる、鉄道何かやめてバスで十分。それにみんなマイカーを持っている時代じゃないかと言

う意見もあるだろう。しかし鉄道には、定時制、安全性、環境対策、エネルギー対策に、ほかにはない長所がある。地域のインフラとして、限らない「重み」を持つものと思う。言い換えれば「鉄道もない地域」とは、それくらいはどうしようもない「超過疎地」と自ら宣言する

ようなものではないか。北陸新幹線も能登空港ももちろん大事だろうが、その陰に隠れて、何か大きなもの、大事なものが失われて行くような気がしてならない。

定されたところ、市民から存続の運動が起こり結局第三セクター「万葉鉄道」として生まれ変わった。「アイトラム」という低床の新型車両も導入され、高岡、新湊市民の大事な足となっているという。真つ赤なアイトラムにぜひ乗りに行きたい。

原稿募集中

趣味や、旅行記、医療・福祉に関してや憲法九条・教育基本法についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。076(222)5373

会員リーエッセイ

◆73◆

隠れ鉄道ファンの歯ざしり

わが県民はどうして、鉄道を大事にしないのか

喜多 徹 (野々市町・内科)

昼下がりのある日、往診に行く途中に踏み切りがあり、「チン、チン、チン」と警報が鳴って、電車を待つ。くすんだ銀色の二両編成のポロ電車(東急の払い下げ品)が、「空気を運んでいるのか」「人を運んでいるのか」から入らなみ方で、けだるそうに通り返して行く。「この線路(北陸鉄道石川線)もいつまでもつか」と考えてしまう。

この新聞が出るころ、のと鉄道能登線(穴水〜蛸島)がすでに廃止されている。鉄路にはすでに赤錆が出ているだろう。隠れ鉄道ファンとしてまことに残念なことである。今さらながら、石川県民は鉄道を大事にしないと言いか、鉄道に冷たいのか

とつくづく思う。

昨年七月の福井豪雨により、JR越美北線は足羽川に架かる数カ所の橋梁が流失してしまった(被害額はこれだけで数十億円と言ふ)。私も新聞報道その他の予想も、JRはこれを好機に大赤字の越美北線を廃止してしまうだろうと思つた。ところがである。新聞報道によると復旧を前提とした調査に入ることである。同じく福井では数年前、当時の京福電鉄で車両老朽化による死亡事故を起こし、京福はこれを機会に福井県内の全路線を一気に廃止を目論んだが、県民の猛反対に遭い、県、沿線市町村を巻き込んだ大論争になった。結局、第三セクター「えちぜん鉄道」となり、京福の全路線を引き継いで開業した。私は昨年、このえちぜん鉄道全線に乗りに行つたが、若い女性のアテンダントを乗務させ各対応していた。それなりに大変な「営業努力」である。

富山県では、同じく大赤字のJR富山港線(富山〜岩瀬浜)を存続のため、同じく第三セクター「富山ライトレール」に譲渡され、路面電車化し、将来は地鉄の市内路線に乗り入れの予定だという。同じく高岡市の加越能鉄道の市内路線も赤字で廃線が予

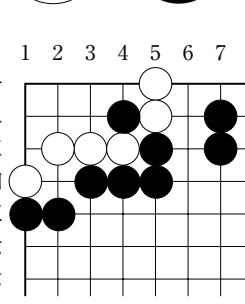
定されたところ、市民から存続の運動が起こり結局第三セクター「万葉鉄道」として生まれ変わった。「アイトラム」という低床の新型車両も導入され、高岡、新湊市民の大事な足となっているという。真つ赤なアイトラムにぜひ乗りに行きたい。

このように見ると、わが県民は、隣県に比べて何と鉄道に冷たいと言いか諦めが早いのだろうかと思つづく。もちろん福井でも、富山でもやっとなり続いた鉄道を今後維持するには、それ相当の苦勞はされると思うが、経費のかかる、鉄道何かやめてバスで十分。それにみんなマイカーを持っている時代じゃないかと言

事務局の杉野までご連絡ください。076(222)5373



囲碁



出題 九段 佐藤昌晴
黒先コウ 5分まで有段者
(ヒント) 初手が急所です。
(解答は4面にあります)

将棋



出題 六段 高田尚平
持駒 銀
(ヒント) 大駒は全て捨てる。
10分で1級。
(解答は4面にあります)

ドキュメンタリー映画

「こんばんは」上映会

パネル発言 「映画に見る教育基本法」

とき 4月29日(金・祝日) 午後1時半〜4時半

ところ 石川県女性センター 大ホール

料金 一般=800円 中高生=500円

お問い合わせ いしかわ県民教育文化センター内 076-223-8415

主催 映画「こんばんは」上映実行委員会 教育基本法を守り生かす石川ネットの会

女医さんから「なにか特にもありません、「天罰」と眼が疲れるようなことをなさいました?」とお尋ねが あきらめねばなりません。あつても、本当のことを言 「ロイヤルフラッシュの呪い」だったかも...